

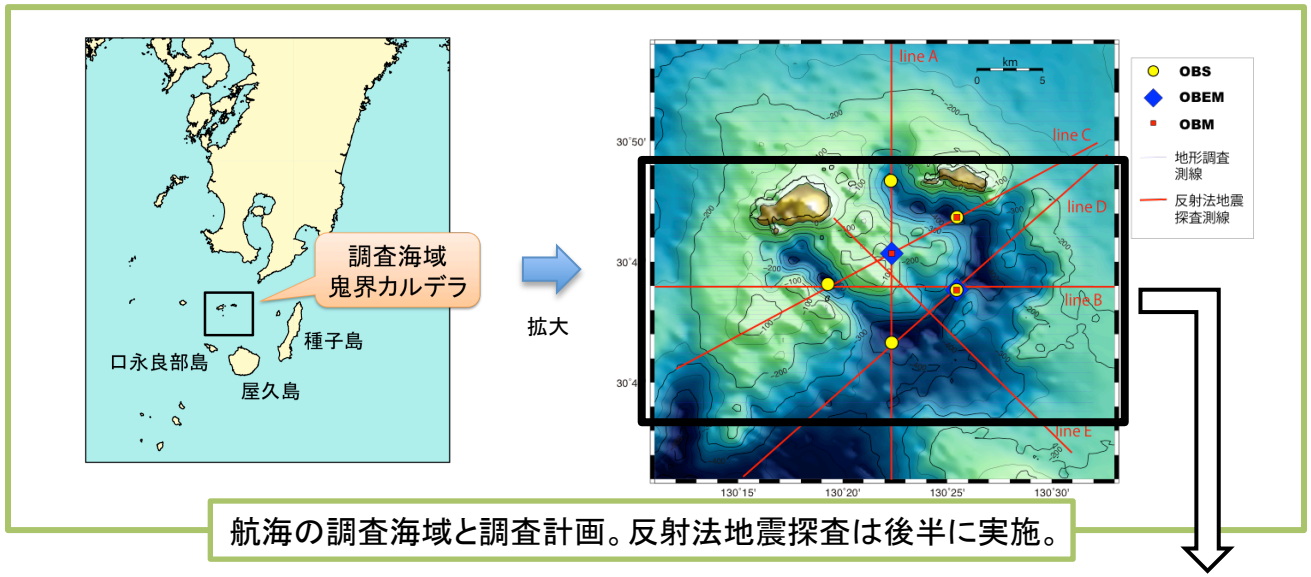
深江丸探査航海 前半速報

2016年10月13日深江～19日鹿児島

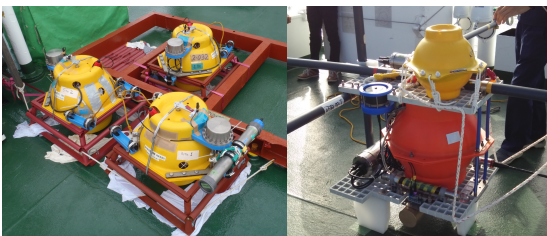


悪天候のため1度鹿児島港への避泊を余儀なくされましたが、当初予定されていたOBS・OBEM・OBMの設置、マルチナロービーム音響測深機による地形調査を無事行うことができました。

また地形調査の際には、海底から噴出する熱水と思われる兆候を複数回確認しました。熱水の兆候が確認された場所は後半の航海、あるいは3月実施予定の航海で詳しい調査が行われる予定です。

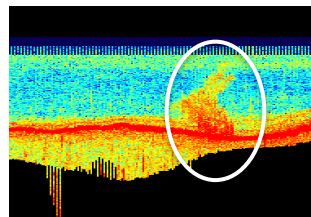
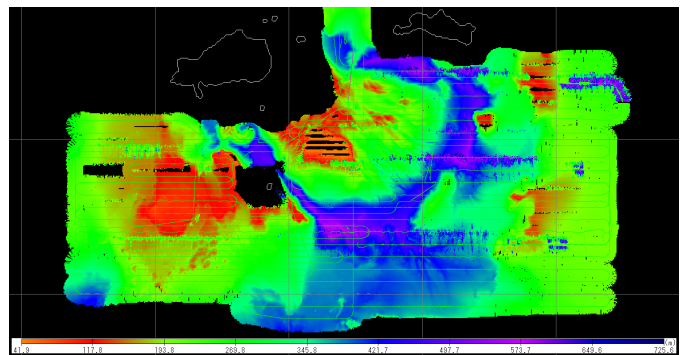


観測機器の設置



OBS(左)4台とOBEM(右)2台の計6台を設置
 そのうちOBS2台とOBEM1台にはOBMも取り付けられている
 OBS(Ocean Bottom Seismometer: 海底地震計)
 OBEM(Ocean Bottom Electro Magnetometer: 海底電位差磁力計)
 OBM(Ocean Bottom Magnetometer: 海底磁力計)

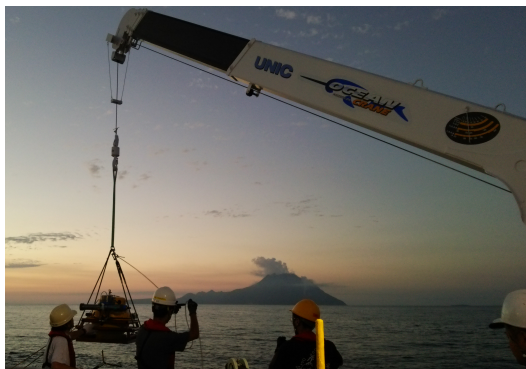
地形調査



↑今回、深江丸で取得した地形図航海計画のもの比べてより細かい地形が明らかに

後半の航海ではすき間の空いている部分や北と南のエリアを調査する予定

↑地形調査中に捉えた熱水の兆候
 色は水中を伝わる音波の反射強度の違いを表し、横方向に伸びる赤い部分が海底で、熱水と思しきもやもとしたものが海底から上がっている様子がわかる



薩摩硫黄島をバックにOBSを設置している様子

取得したデータは主に4年生が解析を行い、設置した観測機器は3月に回収される予定です。